平成 20 年 10 月 14 日

各　　位

会　社　名　DOWA ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　河野　正樹
コード番号　５７１４
問 合 せ 先　経理・財務部門
経理担当部長　　成田　岳浩
TEL(03)6847-1150

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年５月 14 日に公表した、平成 21 年３月期 第２四半期累計期間（平成 20 年４月１日～平成 20 年９月 30 日）の連結業績予想、および平成 21 年３月期 通期（平成 20 年４月１日～平成 21 年３月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正します。

記

１．連結業績予想数値の修正

⑴ 第２四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正（平成 20 年４月１日～平成 20 年９月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	225,000	18,000	18,000	10,000
今回修正（B）	215,000	10,000	10,000	5,500
増減額（B－A）	△10,000	△8,000	△8,000	△4,500
増減率	△4.4%	△44.4%	△44.4%	△55.0%
(参考)前期第２四半期累計実績（平成 20 年３月期第２四半期）	237,212	27,360	27,446	12,118

⑵ 通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年４月１日～平成 21 年３月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	460,000	40,000	40,000	22,000
今回修正（B）	400,000	22,000	22,000	12,000
増減額（B－A）	△60,000	△18,000	△18,000	△10,000
増減率	△13.0%	△45.0%	△45.0%	△45.5%
(参考)前期実績（平成 20 年３月期）	475,826	44,319	44,888	24,520

２．修正の理由

⑴ 第２四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年９月 30 日）

第２四半期連結累計期間の業績につきましては、環境・リサイクル部門、電子材料部門、熱処理部門でほぼ前回予想どおりの見込みとなった一方、金属価格下落の影響を受けた製錬部門、金属加工部門が減益となる見込みです。特に、第２四半期末日にかけ銅・銀の価格が急激に値下がりし、棚卸資産の低価法による評価損 61 億円を生じたことにより減益幅を拡大しました。

これらの結果、5 月 14 日に公表いたしました前回予想に比べ、売上高は 100 億円減収の 2,150 億円、営業利益、経常利益ともに 80 億円減益の 100 億円、四半期純利益は 45 億円減益の 55 億円となる見込みです。

⑵ 通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

当社の事業環境は、米国サブプライム問題に端を発した世界的な経済変調で、第２四半期に入り自動車・ＩＴ向けの需要が急速に落ち込み、各事業部門に広範な影響が及んでいます。また、金属価格は下値を追う展開で、製錬事業の収支をさらに悪化させています。
下期の為替レート・金属価格につきましては、直近のレート・価格を参考に５月 14 日公表時の前提条件を見直すことにより、下期予想収益を 50 億円押し下げる見込みとなりました。

当社では各種コスト対策を検討・実施中ですが、これら急激な環境変化によるダメージは避けられず、通期連結業績予想につきましては、前回予想に比べ売上高は 600 億円減収の 4,000 億円、営業利益、経常利益は 180 億円減益の 220 億円、当期純利益は 100 億円減益の 120 億円となる見込みです。

なお、下期の為替レート及び金属価格の前提は以下のとおりです。

	８月平均	９月平均	前回予想 下期見込	今回予想 下期見込
為替（円／US$）	109.3	106.8	95.0	100.0
銅 LME（$／t）	7,635	6,991	8,400	6,000
亜鉛 LME（$／t）	1,723	1,735	2,400	1,600

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の 前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以　上